

菜の花

何も無い道を抜けたら
黄色くまぶしい世界が広がる

見ているだけで嬉しくさせてくれる
陽に映えて美しく風に揺れて暖かく

ひとつでは頼りない菜の花
まとまることで鮮やかな絨毯

ほんのひととき楽しくさせてくれる
5月の青い空にウェイブしながら

もうこのまま生きてゆこうと
思っていたのに
まだまだいいことを求めながら
探していることに気付く

ひとりでは足りない何かが
一緒にいることで満ち足りた気持ちに

ささやかな暮らしの他には何もいらぬ
これまでの全てを整理したはずだった

もう誰にも知られないでと
思っていたのに
まだまだふれあいを求めながら
探していることに気付く

もうこのまま生きてゆこうと
思っていたのに
まだまだいいことを求めながら
探していることに気付く

断捨離

ときめくものないから
すっきりしたいから
無理をしないところで手放してみよう

ものすごく好きでも
大切でもないものは
わからなくなる前に手放してみよう

霧が晴れるような気持ち
味わってみたいくて
だから何もかもが煩わしくなって

本当の自分知りたくて
はっきりするために
もっと確かなものどこにあるのだろう

忘れてしまいたい
身軽になるために

複雑な毎日に
とられることもなく
無理をしないところで片付けてしまおう

ものすごく好きでも
嫌いでもない人は
別れてしまう前に離れてみよう

たくさんの思い詰め込んで
生きることできない
過去に縋る気持ちも断ち切ってゆきたい

守るべきもの知りたくて
確認するために
気高い生き方を見つけてゆくん

いつかはサヨナラが来る
怖さをなくすために

忘れてしまいたい
気軽になるために

僕は退きません

ふとしたきっかけで
起きるハラスメント
強い人がまさに声高々に

特別に理由（わけ）もなく
立場を守るだけで
弱い人のことを踏み台にして

傍目にはわからない
誰に聞いても良い人
おそらく僕しか知らない

心のはげぐちが
それしかない哀れさを
むしろ同情してあげよう

僕は退きませんこのスタンスから
あなたと張り合うことも馬鹿らしい

負けたふりをしながら
煽てやるだけで
心から折れているわけではない

いつかは僕の方が
立場良くなるかもね
その時のことまで予期できないかな

傍目にはわからない
なんでもできそうな人
おそらく大したことはない

心のはげぐちが
それしかない哀れさを
むしろ同情してあげよう

本当のことはいずれ知られるよ
後悔するのはきっとあなただけ

僕は退きませんこのスタンスから
あなたのレベルに合わすこともない

滝と泉と

たたきつけるような水の音
唸るように流れ落ちる滝
ひき込まれる澄んだ水の底
こんこんと湧き出る不思議な泉

パワーをもらいたくて
切り替えるために
滝の前で手を合わせて
悩み事をつぶやく

落ちているはずなのに
何だか登ってるように
白いしぶきが煙のように
イオン散らして昇る

気持ちを変えてみたくて
全部入れ替えたくて
周りの全ての流れが
思うようになればたら

たたきつけるような水の音
唸るように流れ落ちる滝
ひき込まれる澄んだ水の底
こんこんと湧き出る不思議な泉

清しい気分求め
リフレッシュしたくて
泉の前で手を合わせて
願い事をつぶやく

湧き出す勢いにより
時折変わる水の形
神秘的な美しさに
心が洗われてく

気持ちを変えてみたくて
全部入れ替えたくて
周りの全ての流れが
思うようになればたら

たたきつけるような水の音
唸るように流れ落ちる滝
ひき込まれる澄んだ水の底
こんこんと湧き出る不思議な泉

夕暮れの中で

新しくできた海岸公園の中を走って
夕暮れ前の海は明るい空に混じって
わたしの心の中も照らして光ってる

夕暮れの中で
ただひたすらに追いかける眩しさ
ベンチに腰かけて遠い山と島々を
黄色く燃える日玉の下に映し出して

この頃の夕暮れは
さみしくなることもなく
わたしの心の中にまとまり輝いてる